

AudioComm®

## AM/FMアウトドアラジオ RAD-T202S



### 取扱説明書

AudioComm AM/FMアウトドアラジオをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
正しく安全にご使用いただくため、  
ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

#### 安全にお使いいただくために

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使い方は火災や感電による人身事故につながることがあります。ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

#### 警告

「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- 絶対に本体の分解、改造、修理を行わない。火災、感電、けがの原因となります。
- 屋外使用中に雷が鳴り出したら、すぐに使用を中止する。落雷や感電の原因となります。
- 浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所で使う際は、電池ボックスカバーが確実に閉まっていることを確認する。また、乾電池の交換などを行わない。故障や感電の原因となります。
- ショルダーストラップを肩にかけたまま、農機具や電動工具などを操作しない。回転部などに巻き込まれるおそれがあります。

#### 注意

「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

- 狭い場所や壁に押しつけるなど通気が妨げられる所に置かない。故障及び火災の原因となります。
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる所、暖房器具のそばなど、異常に高温になる所に置かない。故障及び火災の原因となります。
- 本機に新聞紙、テープクロス、カーテンなどをかけて通気口をふさがない。故障及び火災の原因となります。
- 指定以外の電池は使用しない。新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない、種類の異なる電池（例：アルカリとマンガン）をいっしょに使用しない。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。

#### 主な仕様

受信周波数	AM 530—1605 kHz	FM 76—108 MHz
電 源	乾電池：DC6V、単1形乾電池×4本（別売）	
電 池 持 続 時 間	FM 約150時間 AM 約150時間 アルカリ乾電池新品使用。 JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。	
スピーカー	口径76mmモノラルスピーカー（8Ω）	
最 大 出 力	1W	
防 塵 防 水 保 護 等 級	防塵6級（耐塵形）：粉塵が中に入らない 防水5級（防水形）：あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても有害な影響を及ぼしてはならない	
外 形 尺 法	（約）幅168×高さ148×奥行78mm（突起物含まず）	
質 量	約482g（乾電池含まず）	
付 属 品	ショルダーストラップ、取扱説明書、保証書	

※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

OHM 株式会社 オーム電機

〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8

<https://www.ohm-electric.co.jp>

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

電話番号 048-992-3970 平日 9:00~17:00

※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ
●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735

●通話料無料

●携帯・IP・公衆電話からは

0120-963-006 048-992-2735

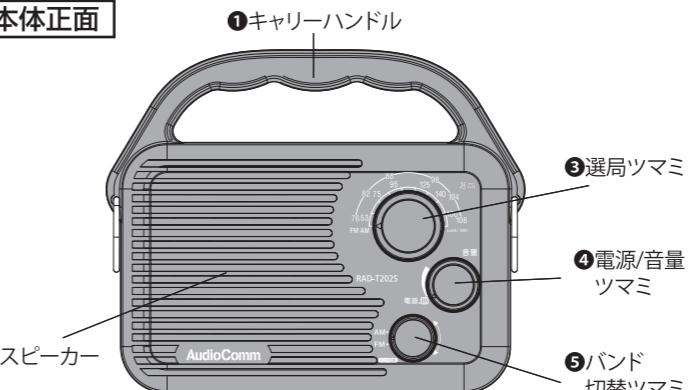
修理ご相談センターへ

電話番号 048-992-3970 平日 9:00~17:00

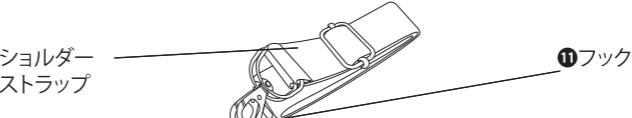
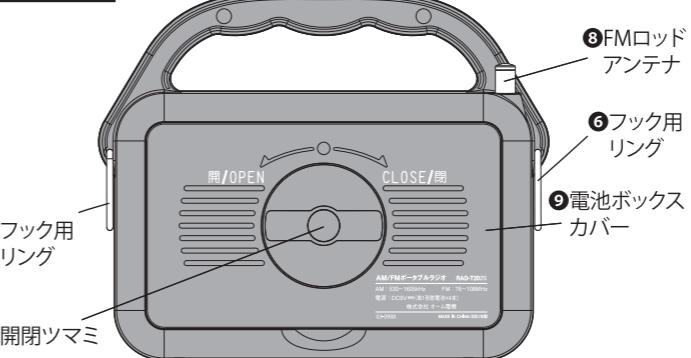
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

#### 各部の名称

##### 本体正面



##### 本体背面



#### 電池の入れ方

電池の出し入れは、必ず本機の電源を切り、本機が乾いた状態で行なってください。ぬれているときに行なうと、感電や故障のおそれがあります。

- 開閉ツマミを「OPEN」の方向に回し、電池ボックスカバーを外れるまで、回し続けます。
- 単1形乾電池×4本（別売）を、①と②の向きに注意しながら正しく入れます。  
●コイルバネのあるほうか①です。②側から先に入れてください。
- 電池ボックスカバーの軸を本体の軸穴に合わせた後、開閉ツマミを「CLOSE」の方向に回し、元どおりにしっかりと閉めます。



単1形乾電池×4本（別売）

##### ご注意

- 電池ボックスカバーと本体の間に隙間があると、浸水の原因となりますので、開閉ツマミを最後まで回し、しっかりと閉めてください。
- 長期間使わないときは、液もれを防ぐため乾電池を取り外してください。

アルカリ乾電池のご使用をお薦めします。マンガン乾電池、充電式電池では使用可能時間が短くなります。

#### ラジオの使い方

- 電源/音量ツマミを時計回りに回すと、カチッと音がして電源が入りります。
- 電源/音量ツマミで音量を調節します。
- バンド切換ツマミで、「AM」「FM」の選択をします。
- 選局ツマミを回してお聴きになる放送局に合わせます。
- ご使用を終える時は、電源/音量ツマミを反時計回りにカチッと音がするまで回すと電源が切れます。

※本機はFM周波数帯域が76～108MHzであるため、ワイドFM（FM補完放送）に対応しています。  
ワイドFM（FM補完放送）とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のためにFMの90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。ワイドFM（FM補完放送）の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

#### 受信について

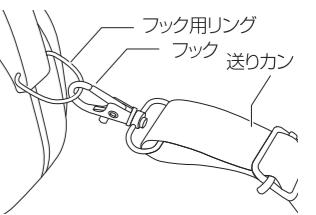
■AM放送を聞くとき  
本体を放送が一番良く受信できる方角に向けてください。

■FM放送を聞くとき  
FMロッドアンテナを伸ばして、向きを放送が一番良く受信できる方角に向けてください。

■音声について  
・本機はモノラル受信機です、ステレオ音声にはなりません。  
・本機はTV放送は受信できません。

#### ショルダーストラップの使いかた

ショルダーストラップの両端にあるフックを、それぞれ本機のフック用リングに装着してお使いください。ストラップの長さは送りカンで調節できます。



##### ご注意

●ショルダーストラップを肩にかけたまま、農機具や電動工具などを操作する行為は絶対にしないでください。回転部を持つ機具の場合、ストラップが巻き込まれるおそれがあり、非常に危険です。

#### 本体のお手入れのしかた

やわらかな布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤や石けん水に浸した布を固く絞って拭き取り、やわらかな乾いた布で仕上げてください。  
なお、シンナー、ベンジン等の揮発性のもので拭いたりしないでください。変色・変形、または破損の原因になります。

#### 故障かな?と思ったら

下表を参考に点検してください。

現 象	点 検 方 法
音が出ない	・音量が最も小さくなっているか確認。 ・乾電池でご使用の場合、乾電池の残量を確認。 (残量がない場合は電池を交換)
雑音に入る	・携帯電話、テレビ、蛍光灯の近くで使用していないことを確認。

AudioComm®

## AM/FMアウトドアラジオ RAD-T202S



### 取扱説明書

AudioComm AM/FMアウトドアラジオをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
正しく安全にご使用いただくため、  
ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

#### 安全にお使いいただくために

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使い方は火災や感電による人身事故につながることがあります。ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

#### 警告

「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- 絶対に本体の分解、改造、修理を行わない。火災、感電、けがの原因となります。
- 屋外使用中に雷が鳴り出したら、すぐに使用を中止する。落雷や感電の原因となります。
- 浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所で使う際は、電池ボックスカバーが確実に閉まっていることを確認する。また、乾電池の交換などを行わない。故障や感電の原因となります。
- ショルダーストラップを肩にかけたまま、農機具や電動工具などを操作しない。回転部などに巻き込まれるおそれがあります。

#### 注意

「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

- 狭い場所や壁に押しつけるなど通気が妨げられる所に置かない。故障及び火災の原因となります。
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる所、暖房器具のそばなど、異常に高温になる所に置かない。故障及び火災の原因となります。
- 本機に新聞紙、テープクロス、カーテンなどをかけて通気口をふさがない。故障及び火災の原因となります。
- 指定以外の電池は使用しない。新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない、種類の異なる電池（例：アルカリとマンガン）をいっしょに使用しない。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。

#### 主な仕様

受信周波数	AM 530—1605 kHz	FM 76—108 MHz
電 源	乾電池：DC6V、単1形乾電池×4本（別売）	
電 池 持 続 時 間	FM 約150時間 AM 約150時間 アルカリ乾電池新品使用。 JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。	
スピーカー	口径76mmモノラルスピーカー（8Ω）	
最 大 出 力	1W	
防 塵 防 水 保 護 等 級	防塵6級（耐塵形）：粉塵が中に入らない 防水5級（防水形）：あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても有害な影響を及ぼしてはならない	
外 形 尺 法	（約）幅168×高さ148×奥行78mm（突起物含まず）	
質 量	約482g（乾電池含まず）	
付 属 品	ショルダーストラップ、取扱説明書、保証書	

※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

OHM 株式会社 オーム電機

〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8

<https://www.ohm-electric.co.jp>

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

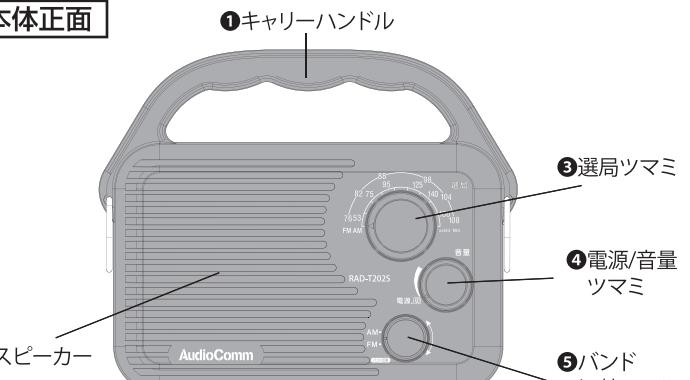
電話受付 048-992-3970 平日 9:00~17:00

※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

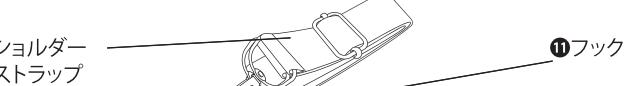
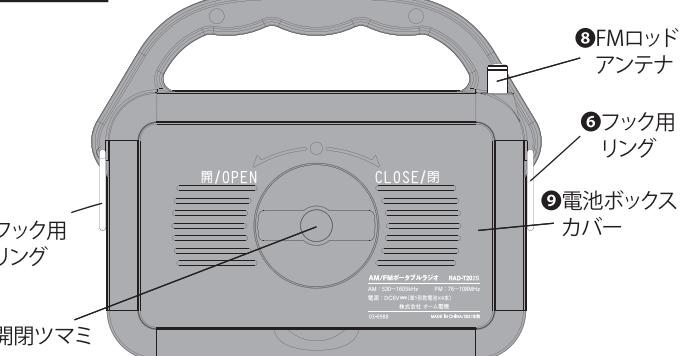
製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ
●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは 0120-963-006 048-992-2735
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ 電話受付 048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

#### 各部の名称

##### 本体正面



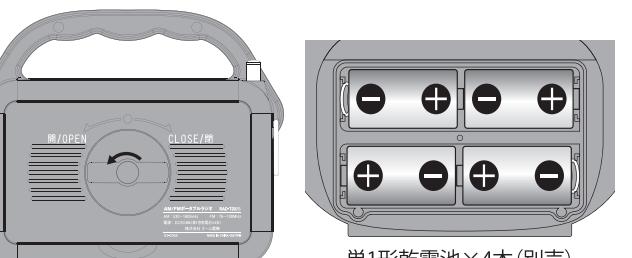
##### 本体背面



#### 電池の入れ方

電池の出し入れは、必ず本機の電源を切り、本機が乾いた状態で行なってください。ぬれているときに行なうと、感電や故障のおそれがあります。

- 開閉ツマミを「OPEN」の方向に回し、電池ボックスカバーを外れるまで、回し続けれます。
- 単1形乾電池×4本（別売）を、①と②の間に注意しながら正しく入れます。  
●コイルバネのあるほうか①です。②側から先に入れてください。
- 電池ボックスカバーの軸を本体の軸穴に合わせた後、開閉ツマミを「CLOSE」の方向に回し、元どおりにしっかりと閉めます。



単1形乾電池×4本（別売）

##### ご注意

- 電池ボックスカバーと本体の間に隙間があると、浸水の原因となりますので、開閉ツマミを最後まで回し、しっかりと閉めてください。
- 長期間使わないときは、液もれを防ぐため乾電池を取り外してください。

アルカリ乾電池のご使用をお薦めします。マンガン乾電池、充電式電池では使用可能時間が短くなります。

#### ラジオの使い方

- 電源/音量ツマミを時計回りに回すと、カチッと音がして電源が入りります。
- 電源/音量ツマミで音量を調節します。
- バンド切換ツマミで、「AM」「FM」の選択をします。
- 選局ツマミをしてお聞きになる放送局に合わせます。
- ご使用を終える時は、電源/音量ツマミを反時計回りにカチッと音がするまで回すと電源が切れます。

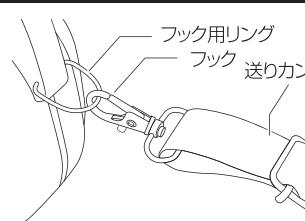
※本機はFM周波数帯域が76～108MHzであるため、ワイドFM（FM補完放送）に対応しています。  
ワイドFM（FM補完放送）とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のためにFMの90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。ワイドFM（FM補完放送）の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

#### 受信について

- AM放送を聞くとき  
本体を放送が一番良く受信できる方角に向けてください。

- FM放送を聞くとき  
FMロッドアンテナを伸ばして、向きを放送が一番良く受信できる方角に向けてください。

- 音声について  
・本機はモノラル受信機です、ステレオ音声にはなりません。  
・本機はTV放送は受信できません。



#### ショルダーストラップの使いかた

ショルダーストラップの両端にあるフックを、それぞれ本機のフック用リングに装着してお使いください。ストラップの長さは送りカンで調節できます。

##### ご注意

- ショルダーストラップを肩にかけたまま、農機具や電動工具などを操作する行為は絶対にしないでください。回転部を持つ機具の場合、ストラップが巻き込まれるおそれがあり、非常に危険です。

#### 本体のお手入れのしかた

やわらかな布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤や石けん水に浸した布を固く絞って拭き取り、やわらかな乾いた布で仕上げてください。

なお、シンナー、ベンジン等の揮発性のもので拭いたりしないでください。変色・変形、または破損の原因になります。

#### 故障かな?と思ったら

下表を参考に点検してください。

現 象	点検方法
音が出ない	・音量が最も小さくなっているか確認。 ・乾電池でご使用の場合、乾電池の残量を確認。 (残量がない場合は電池を交換)
雑音が入る	・携帯電話、テレビ、蛍光灯の近くで使用していないことを確認。